

2019年12月期 第3四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ 設備投資の状況	P.1
④ 非資金項目	P.1
II 2019年12月期 第3四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2019年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2019年10月31日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

2019年12月期 業績予想については、前回発表（2019年7月31日「2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

(単位:百万円)	2018年12月期 第3四半期 A	2019年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	45,543	31,320	△14,223	△31.2	62,551	42,700	73.4
営業利益	3,044	662	△2,381	△78.2	4,951	700	94.6
経常利益	3,134	839	△2,294	△73.2	5,080	1,000	84.0
四半期(当期)純利益	2,248	26,466	24,218	-	1,164	25,700	103.0
(参考)							
研究開発費	3,101	2,588	△513	△16.5	4,138	3,000	86.3
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 80.14	942.93	862.79		41.51	915.62	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 2.6	26.5	23.9		1.3		
総資産経常利益率	(%) 3.0	0.7	△2.3		4.9		
売上高営業利益率	(%) 6.7	2.1	△4.6		7.9		
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 2.1	21.1	19.0		1.1		

② 財政状態

(単位:百万円)	2018年12月期 A	2019年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	103,253	147,236	43,982	42.6
純資産	87,092	112,472	25,379	29.1
自己資本比率	(%) 84.3	76.4	△7.9	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 3,103.28	4,005.94	902.66	

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2018年12月期 第3四半期 A	2019年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 修正予想
設備投資額	485	178	△307	△63.3	811	442
有形固定資産	353	107	△246	△69.6	660	189
無形固定資産	132	71	△60	△46.1	150	253

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2018年12月期 第3四半期 A	2019年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 修正予想
減価償却費	769	746	△22	△3.0	1,040	1,001
長期前払費用償却費	761	365	△395	△52.0	965	480

Ⅱ 2019年12月期 第3四半期実績

① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2018年12月期 第3四半期 A	2019年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	45,543	31,320	△14,223	△31.2	42,700	73.4
製商品売上高	44,921	29,501	△15,420	△34.3	40,400	73.0
HIV感染症領域を除く 製商品売上高	29,627	29,501	△126	△0.4	40,400	73.0
腎・透析領域	16,579	13,324	△3,255	△19.6	18,160	73.4
皮膚疾患領域	6,744	6,757	12	0.2	8,930	75.7
アレルギー領域	2,374	5,056	2,681	112.9	7,360	68.7
その他	3,928	4,362	434	11.1	5,950	73.3
HIV感染症領域	15,293	-	△15,293	△100.0	-	-
その他の売上高	622	1,819	1,197	192.3	2,300	79.1
売上原価	23,547	14,845	△8,702	△37.0	20,800	71.4
製商品売上原価	23,507	14,751	△8,756	△37.2		
その他の原価	40	93	53	133.9		
売上総利益	21,996	16,475	△5,520	△25.1	21,900	75.2
販売費及び一般管理費	18,952	15,812	△3,139	△16.6	21,200	74.6
販管費(研究開発費除く)	15,850	13,224	△2,625	△16.6	18,200	72.7
研究開発費	3,101	2,588	△513	△16.5	3,000	86.3
営業利益	3,044	662	△2,381	△78.2	700	94.6
営業外損益	90	177	87			
経常利益	3,134	839	△2,294	△73.2	1,000	84.0
特別損益	△24	36,332	36,356			
税引前四半期純利益	3,109	37,172	34,062	-		
法人税等	861	10,705	9,844			
四半期(当期)純利益	2,248	26,466	24,218	-	25,700	103.0

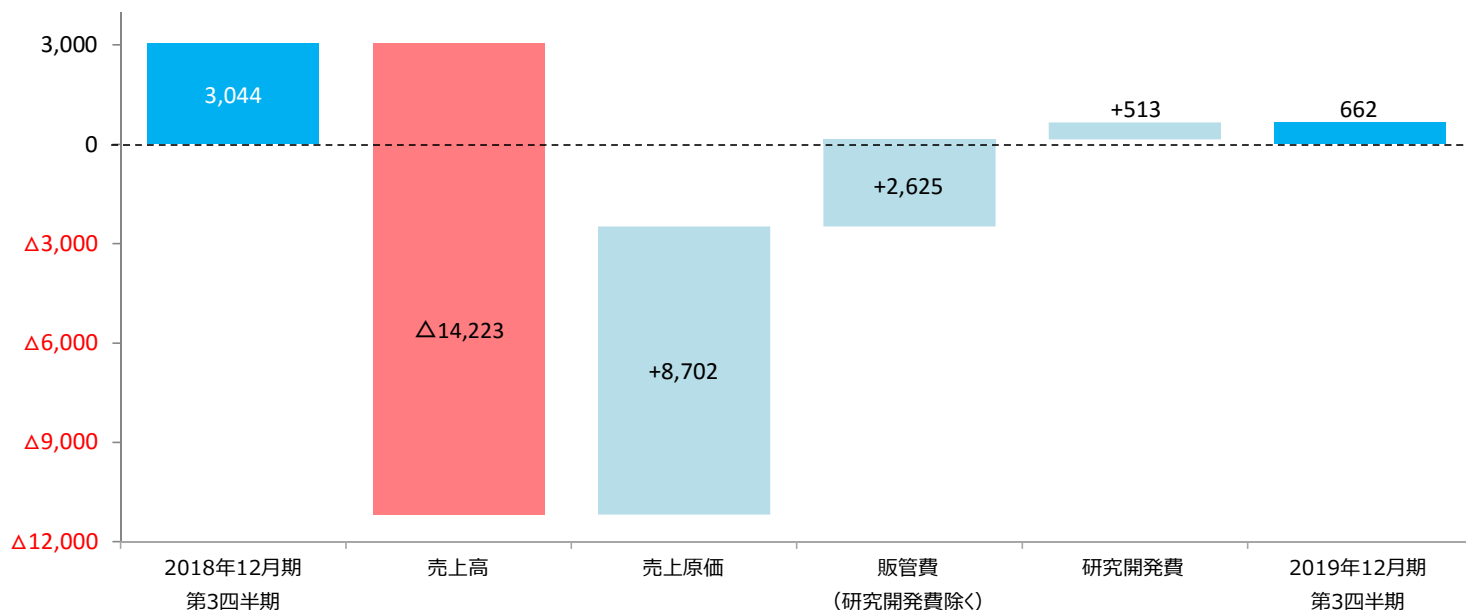
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2018年12月期 第3四半期 A	2019年12月期 第3四半期 B	増減 B-A
売上原価	51.7	47.4	△4.3
販売費及び一般管理費	41.6	50.5	8.9
研究開発費	6.8	8.3	1.5
営業利益	6.7	2.1	△4.6
経常利益	6.9	2.7	△4.2
四半期純利益	4.9	84.5	79.6

【対前年同期増減要因】

営業利益 (662百万円 対前年同期△2,381百万円)

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	: 抗HIV薬販売権の返還による減少、レミッチの後発品の影響による減少、アレルギー領域の伸長による増加 抗HIV薬流通手数料による増加 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
売上原価	: 売上高の減少
販管費 (研究開発費除く)	: 販売促進費の減少、特別転身支援制度の実施等による賞与引当金繰入額の減少
研究開発費	: 共同開発費用の減少(JTS-661)

経常利益 (839百万円 対前年同期△2,294百万円)

特記事項: 特になし

四半期純利益 (26,466百万円 対前年同期+24,218百万円)

当期 抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益	40,614百万円
事業構造改革費用(割増退職金等)	4,279百万円

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期	第3四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
製商品売上高	44,921	29,501	△15,420	△34.3
HIV感染症領域を除く製商品売上高	29,627	29,501	△126	△0.4
[腎・透析領域]				
レミッチ	9,043	6,447	△2,596	△28.7
経口そう痒症改善剤				
リオナ錠	4,754	4,845	90	1.9
高リン血症治療剤				
ケイキサレート ※	1,430	1,406	△23	△1.6
高カリウム血症改善剤				
その他	1,350	624	△726	△53.8
計	16,579	13,324	△3,255	△19.6
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※	4,057	4,039	△17	△0.4
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※	1,133	1,224	90	8.0
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,117	1,104	△12	△1.1
抗真菌薬				
その他	436	388	△47	△10.9
計	6,744	6,757	12	0.2
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※	142	2,180	2,038	—
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	741	1,816	1,075	145.1
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	1,260	840	△420	△33.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
その他	231	218	△12	△5.3
計	2,374	5,056	2,681	112.9
[その他]				
ビオスリー	1,923	2,064	140	7.3
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	2,004	2,298	294	14.7
計	3,928	4,362	434	11.1
HIV感染症領域	15,293	—	△15,293	△100.0

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減	増減率 (%)
	第3四半期	第3四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
自社品売上高	11,176	13,595	2,418	21.6
自社品比率 (%)	24.9	46.1	21.2	—

③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発（適応追加） ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
皮膚疾患領域								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)が2019年1月に製造販売承認申請
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II/III終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2019年7月31日）からの変更点
変更はありません

（参考）

・当社と日本たばこ産業(株)が鉄欠乏性貧血患者を対象として効能追加の開発を進めております高リン血症治療剤「リオナ錠」（開発番号：JTT-751）につきまして、2019年7月、日本国内で実施中の第Ⅲ相臨床試験のうち、比較試験の速報結果を得ました。今回得られた速報結果では、有効性の主要評価項目において「リオナ錠」の対照薬に対する非劣性が確認され、安全性に関しては、「リオナ錠」の良好な忍容性が確認されました。なお、安全性評価項目のうち、悪心及び嘔吐に関する有害事象の発現率を評価した結果、それぞれ、「リオナ錠」は13.0%及び3.2%、対照薬は32.7%及び15.2%でした。

・当社と日本たばこ産業(株)が腎性貧血患者を対象として開発を進めております低酸素誘導因子-プロリン水酸化酵素（Hypoxia Inducible Factor Prolyl Hydroxylase, HIF-PH）阻害薬「JTZ-951（エナロデュスタット）」につきまして、2019年7月、日本国内で実施中の第Ⅲ相臨床試験のうち、透析導入前（保存期）の腎性貧血患者、及び赤血球造血刺激因子製剤（ESA）による治療を受けている血液透析施行中の腎性貧血患者を対象とした2本の臨床試験の速報結果を得ました。今回得られた速報結果では、両試験の有効性の主要評価項目において「JTZ-951」の対照薬に対する非劣性が確認され、また、安全性に関しては、「JTZ-951」の良好な忍容性が確認されました。

・2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症（SHPT）治療薬であるcalcifediol徐放製剤（米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売）について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2019年12月期 業績予想

2019年12月期 業績予想については、前回発表（2019年7月31日「2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2019年12月期	2019年12月期	修正額	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想	修正予想		実績		
	A	B	B-A	C	B-C	
売上高	40,800	42,700	1,900	62,551	△19,851	△31.7
製商品売上高	38,560	40,400	1,840	61,835	△21,435	△34.7
HIV感染症領域を除く 製商品売上高	38,560	40,400	1,840	40,386	13	0.0
腎・透析領域	18,060	18,160	100	21,991	△3,831	△17.4
皮膚疾患領域	8,420	8,930	510	9,126	△196	△2.2
アレルギー領域	6,320	7,360	1,040	3,803	3,556	93.5
その他	5,760	5,950	190	5,464	485	8.9
HIV感染症領域	-	-	-	21,448	△21,448	△100.0
その他の売上高	2,240	2,300	60	716	1,583	221.1
売上原価	19,800	20,800	1,000	31,844	△11,044	△34.7
売上総利益	21,000	21,900	900	30,707	△8,807	△28.7
販売費及び一般管理費	21,700	21,200	△500	25,755	△4,555	△17.7
販管費（研究開発費除く）	18,500	18,200	△300	21,616	△3,416	△15.8
研究開発費	3,200	3,000	△200	4,138	△1,138	△27.5
営業利益	△700	700	1,400	4,951	△4,251	△85.9
経常利益	△400	1,000	1,400	5,080	△4,080	△80.3
当期純利益	24,700	25,700	1,000	1,164	24,535	-

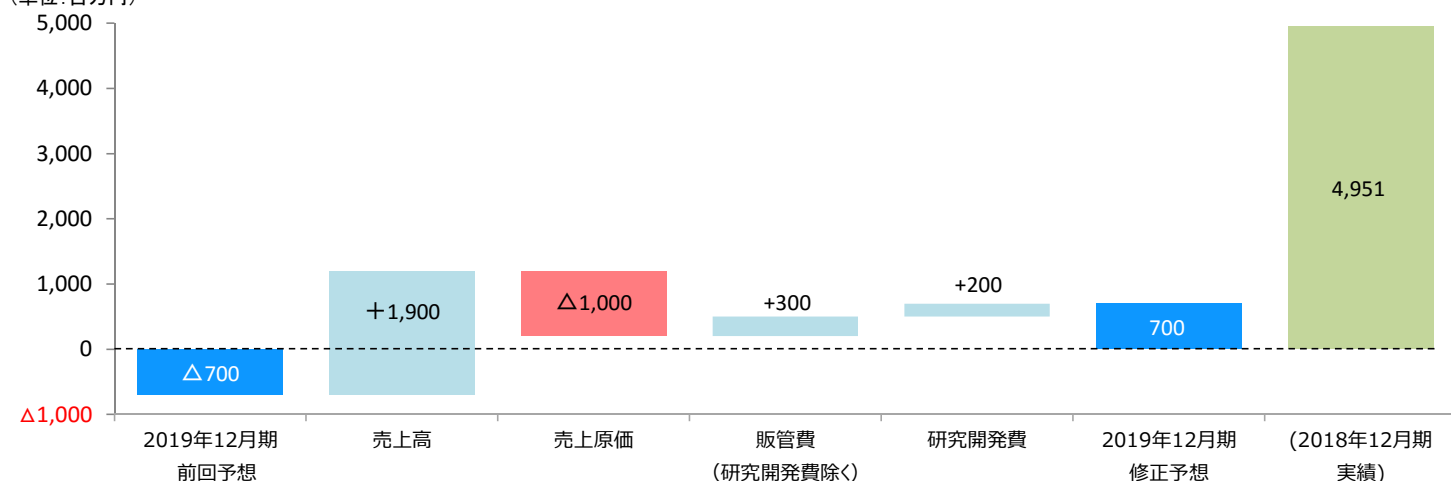
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2019年12月期	2019年12月期	増減	2018年12月期	増減
	前回予想	修正予想		実績	
	A	B	B-A	C	B-C
売上原価	48.5	48.7	0.2	50.9	△2.2
販売費及び一般管理費	53.2	49.7	△3.5	41.2	8.5
研究開発費	7.8	7.0	△0.8	6.6	0.4
営業利益	△1.7	1.6	3.3	7.9	△6.3
経常利益	△1.0	2.3	3.3	8.1	△5.8
当期純利益	60.5	60.2	△0.3	1.9	58.3

【2019年12月期 対前回予想増減要因】

営業利益（700百万円 対前回予想+1,400百万円）

（単位：百万円）



主な増減要因

売上高 : シダキュア スギ花粉舌下錠、ミティキュア ダニ舌下錠、アンテバートの伸長による増加
 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
 売上原価 : 売上高の増加

経常利益（1,000百万円 対前回予想+1,400百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（25,700百万円 対前回予想+1,000百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2019年12月期 前回予想 A	2019年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2018年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	38,560	40,400	1,840	61,835	△21,435	△34.7
HIV感染症領域を除く製商品売上高	38,560	40,400	1,840	40,386	13	0.0
[腎・透析領域]						
レミッチ	8,230	8,770	540	11,598	△2,828	△24.4
経口そう痒症改善剤						
リオナ錠	7,150	6,690	△460	6,603	86	1.3
高リン血症治療剤						
ケイキサレート ※	1,930	1,930	-	1,963	△33	△1.7
高カルシウム血症改善剤						
その他	750	770	20	1,826	△1,056	△57.8
計	18,060	18,160	100	21,991	△3,831	△17.4
[皮膚疾患領域]						
アンテベート ※	4,890	5,350	460	5,536	△186	△3.4
外用副腎皮質ホルモン剤						
ロコイド ※	1,570	1,600	30	1,541	58	3.8
外用副腎皮質ホルモン剤						
ゼフナート	1,450	1,440	△10	1,454	△14	△1.0
抗真菌薬						
その他	510	540	30	593	△53	△9.1
計	8,420	8,930	510	9,126	△196	△2.2
[アレルギー領域]						
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※	2,420	3,370	950	405	2,964	731.6
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬						
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	2,350	2,700	350	1,247	1,452	116.5
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬						
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	1,250	990	△260	1,859	△869	△46.8
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬						
その他	300	300	-	291	8	3.0
計	6,320	7,360	1,040	3,803	3,556	93.5
[その他]						
ビオスリー	2,840	2,840	-	2,682	157	5.9
活性生菌製剤(整腸剤)						
その他	2,920	3,110	190	2,782	327	11.8
計	5,760	5,950	190	5,464	485	8.9
HIV感染症領域	-	-	-	21,448	△21,448	△100.0

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2019年12月期 前回予想 A	2019年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2018年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	16,960	18,700	1,740	15,855	2,844	17.9
自社品比率 (%)	44.0	46.3	2.3	25.6	20.7	-